

番号	28	令和4年度公共事業再評価調書				担当課名	漁港整備課			
事業名	海岸保全(高潮)事業			事業主体	静岡県					
地区名	やいづぎょこうかいがん 焼津漁港海岸			関係市町	焼津市					
事業採択年度	平成24年度		計画期間	平成24年度～令和13年度						
再評価理由	事業採択(H24)後10年が経過した時点で継続中		工事着手年度	平成26年度						
事業費 (百万円)	全体計画事業費		～R2年度	R3年度	R4年度見込	R5年度以降				
	8,836		1,464	458	417	6,497				
事業量	胸壁 3,280m		482m	180m	210m	2,408m				
事業概要	<p>(1)事業目的 当漁港海岸の背後地には、家屋や水産加工工場が密集しているため、津波による浸水被害から住民の生命・財産を防護する。</p> <p>(2)事業内容 ・胸壁 3,280m ・陸閘 22基 ・水門 2基</p>									
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・事業着手時に比べ、焼津市全体の人口は減少傾向にあるものの、沿岸部には人口や世帯数が増加している地区もあり、住民の生命・財産を守る防潮堤整備に対する期待は高いため、継続し津波対策を推進する必要がある。</p> <p>(2)事業の投資効果 ・費用対効果(B/C) : 2.4 ・経済的内部収益率(EIRR) : 9.0% ・総便益 : 289.1億円【現在価値換算】(浸水防護便益 : 921.0億円) ・総費用 : 118.1億円(建設費 : 108.1億円+維持管理費 : 10.0億円)【現在価値換算】</p> <p>(3)事業の進捗状況(令和4年度末見込み) ・事業費 26.4%(2,339百万円/8,836百万円) ・事業量 胸壁 : 32.8%(1,079m/3,280m)</p>									
事業の必要性等	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>継続が妥当</td> <td>・視点3による見直し後継続が妥当</td> <td>・継続は妥当ではない</td> </tr> </table>						評価	継続が妥当	・視点3による見直し後継続が妥当	・継続は妥当ではない
評価	継続が妥当	・視点3による見直し後継続が妥当	・継続は妥当ではない							
【視点2】	<p>本事業による津波対策の防潮堤整備について、東日本大震災以降、地元からの事業に対する期待も大きく、津波防護ラインの早期完成が求められている。今後も計画的な事業進捗により、令和13年度までの計画期間内に完成が見込まれる。</p>									
今後の事業の進捗の見込み	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>継続が妥当</td> <td>・視点3による見直し後継続が妥当</td> <td>・継続は妥当ではない</td> </tr> </table>						評価	継続が妥当	・視点3による見直し後継続が妥当	・継続は妥当ではない
評価	継続が妥当	・視点3による見直し後継続が妥当	・継続は妥当ではない							
【視点3】	<p>(コスト縮減について) 防護ラインの開口部に設置する陸閘に、新工法である起伏式フラップゲートを導入し、従来工法に対し建設及び維持管理コストの縮減を図っていく。</p>									
コスト縮減・代替案立案等の可能性										
対応方針	<p>(1)対応方針 本事業を(継続)見直し後継続・中止)する。</p> <p>(2)理由 本事業は、津波から住民の生命と財産を守るものである。近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、被災時に緊急物資を受け入れる防災港湾としての早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元や関係者の事業に対する期待も大きいことから、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。</p>									

費用対効果の算出説明書

焼津漁港海岸 海岸(高潮)事業

1. 分析設定

・費用対効果分析の基本的な考え方

「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)(令和2年4月 一部更新) 平成16年6月」

「治水経済評価マニュアル(案)」令和2年4月

(各種資産評価単価及びデフレーターは令和4年3月改正版))

・社会的割引率 4%

2. 分析結果

総括表

総便益B	「浸水防護便益」 事業を実施しない場合に想定される浸水地域での資産被害額	289.1億円
総費用C	[建設費] + [評価期間内に必要な維持管理費]	118.1億円
B/C	費用便益比	2.4
EIRR	経済的内部収益率	9.0

総便益

○「浸水防護便益」
年平均被害軽減額を社会的割引率4%、評価対象期間70年(工期20年+50年)とし、現在価値化する。

便益計 = \sum 年平均被害軽減額 / $(1+0.04)^n$
= 289.1億円

総費用

全体事業費 118.13億円(事業費108.16億円、維持管理費9.98億円)

費用計 = \sum 年間建設費 / $(1+0.04)^n$ + \sum 年間維持管理費 / $(1+0.04)^n$
= 95.98億円

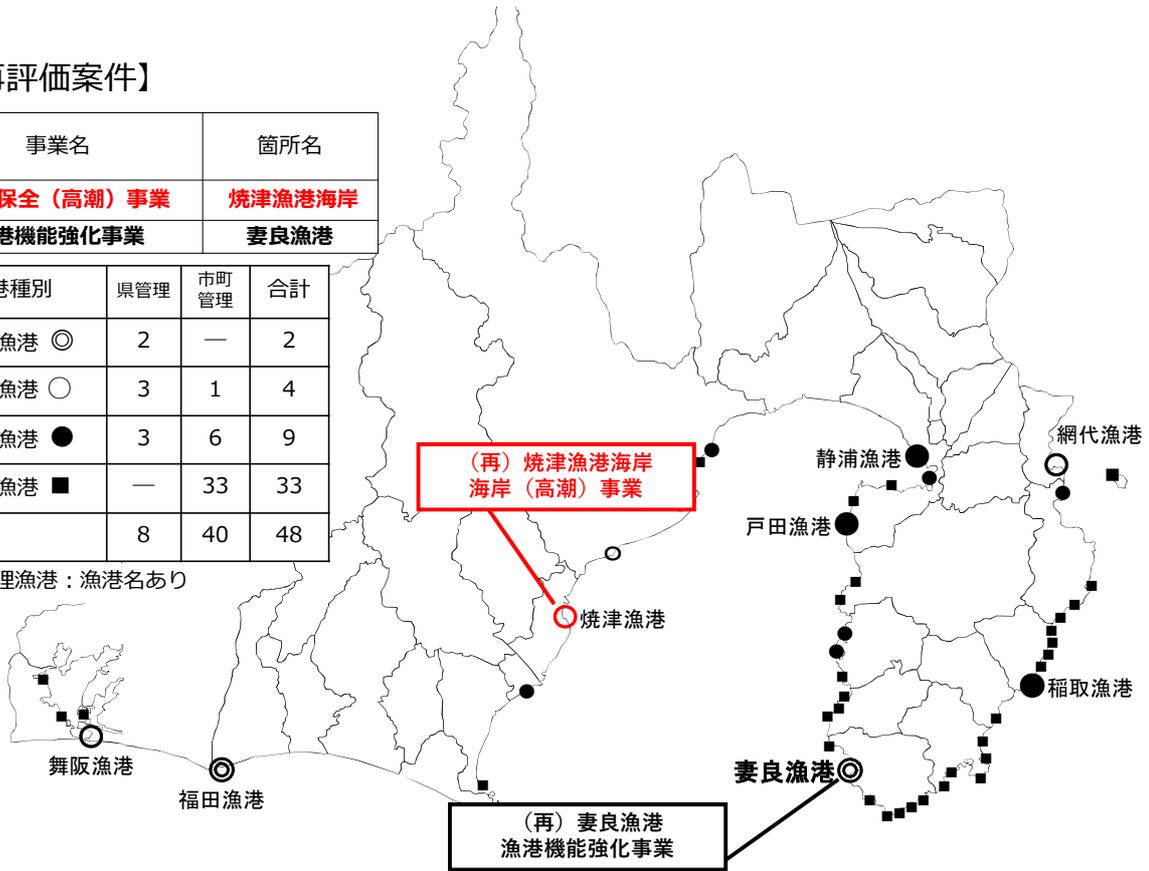
港湾局漁港整備課 再評価 箇所一覧

【再評価案件】

事業名	箇所名
海岸保全（高潮）事業	焼津漁港海岸
漁港機能強化事業	妻良漁港

漁港種別	県管理	市町管理	合計
第4種漁港 ◎	2	—	2
第3種漁港 ○	3	1	4
第2種漁港 ●	3	6	9
第1種漁港 ■	—	33	33
	8	40	48

※県管理漁港：漁港名あり



事業概要

海岸保全（高潮）事業 焼津漁港海岸 事業概要図



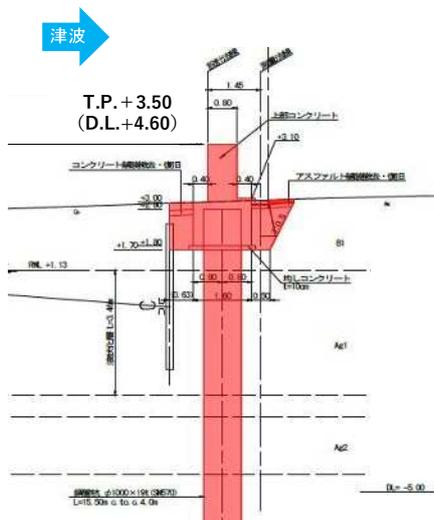
事業主体：静岡県
 事業期間：平成24年度～令和13年度
 事業費：8,836百万円
 事業量：胸壁 3,280m
 陸閘 22基、水門 2基

【凡例】	
— (red line)	: 計画胸壁
● (red)	: 計画陸閘
● (blue)	: 計画水門
● (orange)	: 計画水門(他事業)
□ (light blue)	: L1津波浸水域
— (blue line)	: 既設防潮堤
○ (blue)	: 既設陸閘
● (green)	: 津波緊急待避施設
● (blue)	: 津波避難ビル

整備状況①

●焼津内港地区

胸壁標準横断面図



整備前



整備後



●小川内港地区

整備後



整備前



整備状況②

●重要施設の周辺は、先行して整備（石油タンク周辺）

焼津内港地区



小川内港地区



●防犯対策及び景観対策としてアクリル板を設置



船舶へのいたづらや窃盗等の防犯対策としてアクリル板を設置
見通しの確保により景観対策にも寄与

アクリル板設置状況